

【外国人患者への医療】

○ 事業実績

項目	東京都保健医療計画(平成30年3月改定)の内容		事業名	事業概要	これまでの取組状況		令和2年度計画 (予算規模等)	国庫 負担	
	課題	取組			令和元年度実績	令和2年度実績			
外国人患者への医療	<課題1> 外国人患者の受入体制が 整った医療機関の確保	(取組1) 外国人患者受入れ医療機関の整備 ○外国人患者受入れ医療機関認証制度・JMIP取得に対する支援、院内表示の多言語化など、外国人患者受入体制整備への支援により、引き続き外国人患者対応に取り組む医療機関の整備を促進していきます。	東京都外国人患者の受入体制の充実に係る第三者認証取得支援事業	外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)を受審する病院に対し評価料等を補助	令和元年度補助実績:1病院	令和2年度補助実績:0病院	4病院 (4,000千円)		
			東京都外国人患者受入れ体制整備支援事業	パンフレットや問診票、ホームページの翻訳及び作成に係る費用や院内資料、案内表示の多言語化等に取り組む医療機関への補助	令和元年度補助実績:9医療機関	令和2年度補助実績:13医療機関	30医療機関 (19,500千円)		
			(取組1) ○医療機関における多言語対応を支援するため、外国人患者が救急で来院した際に活用できる電話による救急通訳サービスを引き続き実施します。	医療機関向け救急通訳サービス	都内の登録医療機関を対象に、救急で来院した外国人患者が、日本語が不自由なために診療に支障を来すような場合に、電話による医療通訳サービスを6か国語(英・中・韓・タイ・スペイン・フランス)で実施	救急通訳サービスの実施 通訳実績:118件 登録医療機関数:997件	救急通訳サービスの実施 通訳実績:64件 登録医療機関数:1,039件	(27,488千円)	
			(取組1) ○未収金防止対策、宗教・文化・慣習の違いや医療制度の違いを理解した上での対応、感染症情報等の医療機関向けの研修や、診療所向け外国人患者対応のためのマニュアルなどを通じて医療機関の対応力の向上を図ります。	外国人患者対応支援研修	場面ごとにおける外国人患者対応時の注意事項や、制度等の説明方法、医療費の支払方法や未収金防止対策等について学ぶ、医療機関向けの研修を実施	実践編(1回)の実施 ※基礎編2回、実践編1回は新型コロナウイルス感染症のため中止	動画配信(オンデマンド形式)による実施	2回 (8,000千円)	
				海外渡航者や外国人患者を診療するための医療機関向け研修会	海外渡航者等が受診する医療機関などを対象に、蚊媒感染症など海外で流行する感染症の診断のポイントや、感染症が疑われる外国人旅行者等が受診した際の対応等についての研修を実施	研修の実施(1回)	研修(1回)を予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため中止	1回 (816千円)	
				東京都保健医療情報センターの外国語対応事業	外国語対応可能な都内医療機関や日本の医療制度等を、相談員が5か国語(英・中・韓・タイ・スペイン)で案内	外国語対応事業の実施 相談件数:12,392件	外国語対応事業の実施 相談件数:11,101件	保健医療情報センターの運営 (133,449千円の内数)	
	<課題2> 外国人向けの医療情報等の 充実		東京都医療機関案内サービス“ひまわり”・東京都薬局機能情報提供システム“t-薬局いんふお”等のWebサイトにおいて、外国人対応を行う医療機関・薬局の紹介や、日本の医療制度等について情報提供を行います。	東京都医療機関案内サービス“ひまわり”による情報提供	外国語対応可能な都内医療機関情報を提供(英・中・韓)	“ひまわり”Webサイトの運営 アクセス数:4,788,052件	“ひまわり”Webサイトの運営 アクセス数:2,268,714件	東京都医療機関案内サービス“ひまわり”Webサイトの運営 (68,602千円)	
			○外国人への対応を行う機会が多い宿泊施設、観光案内所や、区市町村、救急相談センター(＃7119)等の関係機関と連携して、効果的に医療情報等を提供していきます。	東京都薬局機能情報提供システム“t-薬局いんふお”による情報提供	外国語対応可能な都内医療機関情報を提供(英・中・韓)	“t-薬局いんふお”Webサイトの運営 アクセス数:280,332件	“t-薬局いんふお”Webサイトの運営 アクセス数:315,537件	“t-薬局いんふお”Webサイトの運営(4,840千円)	
			○行政や医療機関、医師会等関係団体や宿泊施設等、関係機関による会議体を設置し、関係機関の連携を強化した取組を促進します。	外国人患者への医療等に関する協議会	医療機関や関係団体、観光・宿泊施設等による会議体を設置し、連携を強化し、外国人への医療提供に係る取組を促進	外国人患者への医療等に関する協議会(1回)及び検討部会(3回)の開催	外国人患者への医療等に関する検討部会(1回)及びワーキンググループ(1回)の開催	協議会2回・検討部会4回の開催 (1,764千円)	○
	<課題3> 外国人患者が症状に応じて安心して受診等ができる 仕組みづくり		○地域の医療機関が連携した、症状に応じて外国人患者を受け入れる仕組みづくり(医療機関間の連携、診療所・中小病院の後方支援)や、関係機関と連携した効果的な情報提供の仕組みづくりなど、地域の実情に応じた取組を推進します。	地域の実情に応じた外国人患者受入れ環境整備事業	外国人が多い地域において、医療機関と関係機関の連携により、外国人患者が症状に応じて安心して受診できるよう、地域の実情に応じた受入れ環境を整備	・地域の実情に応じた外国人患者受入れ環境整備事業(包括補助) 令和元年度補助実績:0件 ・渋谷区、新宿区においてモデル事業実施(都立広尾病院、東京都保健医療公社大久保病院に委託)	地域の実情に応じた外国人患者受入れ環境整備事業(包括補助) 令和2年度補助実績:0件	9地区 (45,000千円)	○
			○国や関係部署等と連携して、外国人旅行者に対する旅行保険の加入促進の働きかけや、海外への日本の医療制度などの情報発信を行います。	宿泊施設等における外国人患者対応の実態を踏まえた対応方法の検討等委託	宿泊施設・観光施設等の現状・課題・ニーズを把握し、対応方法を整理して、宿泊施設や観光施設等の職員が体調を崩した外国人旅行者から相談を受けた際に適切に対応できるよう、対応方法をまとめたマニュアルを作成	宿泊施設等向け外国人患者対応マニュアルの作成・配布	(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、訪日外国人の入国が制限されている状況を鑑み、配布を取り止め)	マニュアルの配布 (731千円)	